記者発表資料

令和２年１月７日
庄内・社会基盤技術
フォーラム運営委員会

『第25回 庄内・社会基盤技術フォーラム』を開催します
～「産・学・官」共同の技術フォーラム～

庄内地方所在の「産・学・官」で組織する庄内・社会基盤技術フォーラム運営委員会では、庄内地方における土木・建築・環境技術の進歩及び技術者の資質向上を図るとともに、他地域に対し意見・情報を広く発信することを目的に、「第２５回庄内・社会基盤技術フォーラム」を開催します。

【庄内・社会基盤技術フォーラムの概要】

〈日　時〉　令和2年1月15日（水）13:30～17:30（受付開始13:00～）
〈会　場〉　酒田市公益研修センター（東北公益文科大学キャンパス内）
　　〒998-8580 酒田市飯森山3-5-1
〈内　容〉　〇特別講演「国土・インフラを築き守る土木のチカラ」
　　公益社団法人 土木学会 専務理事　塚田　幸広　氏
　　〇事例・研究発表 18題（プログラムは別添）
〈聴　講〉　〇事前の申込は不要
　　〇参加費無料
　　※講演概要集は当日会場で販売しています。

【主　催】

庄内・社会基盤技術フォーラム運営委員会
委員長：安中 武幸　山形大学農学部教授
構成員：山形大学農学部、東北公益文科大学、鶴岡工業高等専門学校、酒田光陵高等学校、鶴岡市、酒田市、国土交通省酒田河川国道事務所、国土交通省酒田港湾事務所、東日本高速道路(株)鶴岡管理事務所、(一社)建設業協会鶴岡支部、(一社)建設業協会酒田支部、前田製管(株)、庄内生コンクリート協同組合、㈱庄内測量設計舎

【その他】

〇(社)土木学会の継続教育（ＣＰＤ）プログラムとしての認定を受け実施します。
発表者、受講者には(社)土木学会よりＣＰＤ単位証が交付されます。
※CPD：Continuing Professional Development→継続的な専門能力開発

問い合わせ先

庄内・社会基盤技術フォーラム運営委員会（事務局）

小池 禎一　0234-23-5110（前田ホールディングス(株)総務・人事グループ次長）
岸田 正也　0234-27-3494（国土交通省酒田河川国道事務所調査第二課長）
福田 良介　0234-33-6313（国土交通省酒田港湾事務所工務課長）
下岡 英智　0235-22-8772（東日本高速道路(株)鶴岡管理事務所工務担当課長）

プ ロ グ ラ ム

13:30～ 13:35	**開会挨拶**　安中　武幸　　庄内・社会基盤技術フォーラム運営委員長　【多目的ホール】		
13:35～ 15:10	**特別講演**　**「国土・インフラを築き守る土木のチカラ」**　【多目的ホール】 塚田　幸広（公益社団法人 土木学会 専務理事）		
15:10～ 15:20	**休　　憩**		
※ (15:18) 発表の進行 説明	**事例・研究発表（施工技術、環境、地域づくり）**		
	A会場　【多目的ホール】 司会：岡部 武彦 （東北地方整備局　酒田河川国道事務所）	**B会場**　【中研修室１】 司会：吉田 久隆 （東北地方整備局 酒田港湾事務所）	**C会場**　【中研修室２】 司会：高橋 正則 （東日本高速道路(株)東北支社鶴岡管理事務所）
15:20～ 15:35	**ドローン撮影と画像処理** 川島 優史、佐藤 尚紀（酒田光陵高等学校）	**鶴岡市におけるＢＩＳＴＲＯ下水道の取組み** 佐藤 孝幸（鶴岡市）	**2019 年台風 19 号による高畠町での浸水被害について** 長南 千里（山形大学 農学部）
15:37～ 15:52	**生活排水および病院排水に存在するＥＳＢＬ産生大腸菌の薬剤耐性パターン** 伊藤 稀乃、加藤 杏優里、齋藤 真之介、 佐々木 康、佐野峯 羽那（鶴岡南高等学校）	**下水処理水の培養で増殖する微細藻類の同定** 添田 慶　（山形大学 農学部）	**荒沢ダムの紹介** 庄司 貴仁（山形県庄内総合支庁）
15:54～ 16:09	**胸掛け重力式水車の開発** 齋藤 友聖、三浦 和雅（鶴岡工業高等専門学校）	**国道 112 号月山道路の冬期交通確保の取り組み** 今野 慎也（酒田河川国道事務所）	**作業負荷量からみたサクラマス産卵環境造成手法** 佐藤 可菜恵（山形大学 農学部）
16:11～ 16:26	**被災建築物応急危険度判定の建築士会酒田支部との協定における取組みについて** 後藤 希望（酒田市）	**トンレサップ湖における水質モデルを用いた水上生活者の健康リスク評価** 米田 一路（山形大学 大学院）	**ディスポーザー導入による都市コストの試算** 伊藤 槙哉（鶴岡市）
16:28～ 16:43	**さみだれ大堰の点検結果と今後の方針について** 佐藤 正樹（酒田河川国道事務所）	**「酒田港大浜海岸における生物多様性創出実験」経過報告（その３）** **～多様な主体の協働による港湾の環境創出と利活用～** 中西 敬（徳島大学環境防災研究ｾﾝﾀｰ客員教授）	**下水処理水灌漑による水田土壌への影響** 室岡 直（山形大学 農学部）
16:45～ 17:00	**ベトナム・フエ市における農地の微生物汚染の実態調査** 西山 正晃　（山形大学 農学部 助教）	**ユニットスケールの時空間特性に着目した 河川環境評価について** 菊田 将太郎（山形大学 農学部）	**ブルーライン噴射装置の改善について** 大倉 豪（(株)ﾈｸｽｺ・ﾒﾝﾃﾅﾝｽ東北）
17:00～ 17:10	講　評：菅　太 （東北地方整備局 酒田河川国道事務所）	講　評：池田 武司 （東北地方整備局 酒田港湾事務所）	講　評：布施 光啓 （東日本高速道路(株)東北支社鶴岡管理事務所）

庄内・社会基盤技術フォーラムについて（概要）

【目　的】

庄内地域の土木技術者のレベルアップと連帯感を高めることを狙いとして、産・学・官の土木技術者有志が連携し、研修及び交流の場を提供することにより、地域の土木技術者が新しい技術動向をとらえ、更に他地域への情報発信を目指すことを支援し、地域の発展に貢献することを目的とし、平成11年に設立。

【当フォーラムの参加機関】

■山形大学農学部、東北公益文科大学、
鶴岡工業高等専門学校、酒田光陵高等学校、
国土交通省　酒田河川国道事務所、
国土交通省　酒田港湾事務所、
鶴岡市、酒田市、
東日本高速道路(株)鶴岡管理事務所、
(一社)山形県建設業協会鶴岡支部、
(一社)山形県建設業協会酒田支部、
庄内生コンクリート組合、
(株)庄内測量設計舎、前田製管(株)

【活動内容】

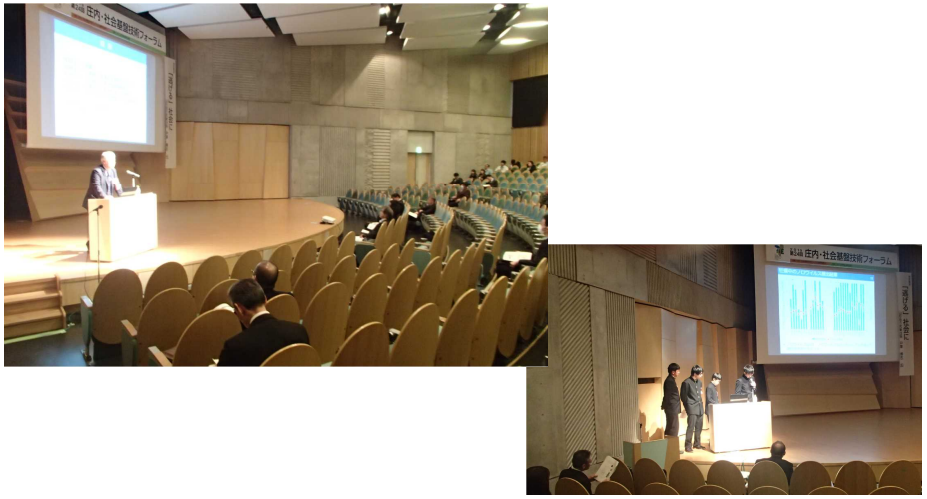
年1回、庄内・社会基盤技術フォーラムを開催

令和元年度(第25回)の開催概要

■日時：令和２年１月15日（水）13:30～17:30
■場所：酒田市公益研修センター
（東北公益文科大学キャンパス内）
特別講演は大ホールで開催
事例・研究発表は施設内の３会場で実施
■内容：●特別講演（13:35～15:10）
国土・インフラを築き守る土木のチカラ
公益社団法人 土木学会 専務理事
塚田　幸広　氏
●事例・研究発表　18題　（１５:20～17:00）

平成30年度(第24回)の開催状況

■参加者：約240人



第24回 庄内・社会基盤技術フォーラム開催状況